

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-516725 (P2005-516725A)
 【公表日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-022
 【出願番号】特願 2003-567284 (P2003-567284)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/39 3 1 0

A 6 1 B 17/39 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 22 日 (2005.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細長いシャフト、

シャフトに結合された第 1 電極、および

シャフトに結合され、第 1 電極から電氣的に絶縁された第 2 電極、

を備え、第 2 電極は細長いシャフトの周囲の一部のみに設けられる露出部分と、第 1 電極から基端方向に離れた部分を備える外科用装置。

【請求項 2】

第 2 電極を備え、細長いシャフトの周囲の一部のみに設けられる導体と、

導体の少なくとも一部分にわたって設けられ、第 2 電極の露出部分を区画する窓を備える絶縁層とをさらに備え、前記絶縁層も導体が露出していない細長いシャフトの少なくとも所定部分にわたって設けられ、その所定部分が電気外科手術中に隣接組織を保護するように形成される絶縁領域を備える請求項 1 の外科用装置。

【請求項 3】

絶縁層が熱的および電氣的絶縁を与える請求項 2 の外科用装置。

【請求項 4】

細長いシャフトは先端部分を備え、第 1 電極は細長いシャフトの先端部分に結合して側面を向いている請求項 1 の外科用装置。

【請求項 5】

細長いシャフトは縦軸を形成し、その軸に沿って縦方向に延びる第 1 側面を備え、側面を向く第 1 電極は第 1 側面の方に向き、第 2 電極の露出部分は第 1 側面の方に向く部分を備える請求項 4 の外科用装置。

【請求項 6】

第 2 電極を備え、細長いシャフトの周囲の一部分のみに設けられた導体と、

導体の少なくとも一部にわたって設けられ、第 2 電極の露出部分を区画する窓を備える絶縁層と、
 を備える請求項 5 の外科用装置。

【請求項 7】

導体がクリップを備える請求項 6 の外科用装置。

【請求項 8】

第 1 電極に電氣的に結合された伝導性チューブと、
伝導性チューブの少なくとも一部分にわたって設けられた第 1 絶縁層と、
クリップの少なくとも一部分にわたって設けられた第 2 絶縁層と、
をさらに備える請求項 7 の外科用装置。

【請求項 9】

第 1 絶縁層と第 2 絶縁層の各々がテフロン（登録商標）からなる請求項 8 の外科用装置。

【請求項 10】

シャフトが管を形成し、装置が先端部分を備え、先端部分に管開口を形成し、その管開口は管に連通して吸引を行うように形成された請求項 1 の外科用装置。

【請求項 11】

第 2 電極の露出部分の表面積は、第 1 電極の表面積の少なくともほぼ 6 倍である請求項 1 の外科用装置。

【請求項 12】

第 1 電極は組織を削るように形成された表面を備える請求項 1 の外科用装置。

【請求項 13】

第 1 電極は、吸引形態に形成され、表面が吸引形態におけるエッジを備える請求項 12 の外科用装置。

【請求項 14】

細長いシャフトが縦軸を規定して先端部を備え、

第 1 電極がシャフトの先端部分に結合され、縦軸に沿ってまっすぐに延びて組織に接触するように形づくられている請求項 1 の外科用装置。

【請求項 15】

細長いシャフトは、ユーザがシャフトを湾曲できる柔軟な先端部分を備える請求項 1 の外科用装置。

【請求項 16】

第 1 電極は組織を除去するように形づくられている請求項 1 の外科用装置。

【請求項 17】

第 2 電極の全露出部分は第 1 電極から基端方向に離れている請求項 1 の外科用装置。

【請求項 18】

シャフトは第 1 電極に近い先端に湾曲を備えると共に先端チップを備え、側面を向く第 1 電極は先端チップに設けられている請求項 4 の外科用装置。

【請求項 19】

細長いシャフト、

そのシャフトに結合した第 1 電極、

そのシャフトに結合し細長いシャフトの周囲の一部のみに設けられた露出部分を有する第 2 電極、および

シャフトに結合してシャフトの全側面に沿って縦方向に延びる絶縁表面を備える手段を備え、絶縁表面に隣接する非目標組織は、目標組織へ電気エネルギーを印加中に保護される外科用装置。

【請求項 20】

手段は、シャフトに結合し第 1 電極から電氣的に絶縁された導体からなり、その導体は細長いシャフトの周囲の一部のみに設けられ第 2 電極として働くように形づくられた部分を備える請求項 27 の外科用装置。

【請求項 21】

絶縁表面を備える手段は、熱的および電氣的に絶縁された表面を備える手段である請求項 27 の外科用装置。

【請求項 22】

第 1 側面を備える細長いシャフト、

シャフトに結合し第 1 側面の方に向き、細長いシャフトの全周に設けられない露出部分を備える第 1 電極、および

シャフトに結合し、第 1 電極から電氣的に絶縁され、第 1 側面の方に向き、細長いシャフトの全周に設けられない露出部分を備える第 2 電極、
を備える外科用装置。

【請求項 23】

側面を向く第 1 電極と、側面を向く第 2 電極が、第 1 側面上で同じ方向を向く請求項 30 の外科用装置。